

1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

評価一覧（全33取組）	◎ 12件（37%）：進捗率100%以上
	○ 7件（21%）：進捗率50%以上 100%未満
	△ 5件（15%）：進捗率50%未満
	中止 9件（27%）：行事が中止になった

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標						新型コロナ 感染症の 影響	実施時期 (変更があった 場合の 実施時期)	評価	取組内容	検証 シート ページ
					2019年度 実績	2020年度（令和2年度）			2025年度	2030年度					
						目標値	年度末実績	進捗率							
(1)土砂災害等 に対する備え	平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。		○	(ア)防災マップを作り、災害に備えよう！	121/196 町内会	139/196 町内会	135/196 町内会	78%	196/196 町内会 (2023年)	更新	大	通年 (7月～3月)	○	作成予定の18町内会のうち、14町内会は作成・配付した。	1
				(イ)「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	4地区/年	4地区/年	1地区/年	25%	4地区/年	4地区/年	大	9～3月	△	新型コロナウイルス感染症の影響により4地区のうち1地区（温品）のみの実施となった。	2
(2)避難行動要 支援者への支 援	要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。		○	要支援者を地域で支えよう！	4/13地区	6/13地区	6/13地区	100%	13/13地区 (2024年)	更新	大	通年	◎	実態調査の結果、「避難支援者がいない」「実態不明」と回答した77人のうち、3人（福田・馬木・矢賀各1人）の個別計画を作成した。	3
(3)地区社協や 町内会などの 地域コミュニ ティの活性化	町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。		○	(ア)次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	-	500人	0人	0%	500人	500人	大	12月 (-)	中止	新型コロナウイルス感染症の影響により講演会は中止した。3月27日にオンラインで開催した『「地域コミュニティ活性化」を考えるシンポジウム』の視聴を地域団体へ呼び掛けた。	4
				(イ)「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金」	2件/年	2件以上/年	3件/年	150%	2件以上/年	2件以上/年	小	通年	◎	地区社会福祉協議会等の団体への案内の送付や、全町内会長に送付する別事業の文書発送に併せて制度のお知らせを同封するなどして、より広く周知を図った。	5
(4)犯罪の起 こりにくい安全 なまちづくり	安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。		○	(ア)地域の安全は地域で守ろう！	5台 /6年平均	5台以上/年	3台/年	60%	5台以上/年	5台以上/年	小	4～11月 (4～3月)	○	防犯カメラの設置台数が地区によって偏りがあることから、2月に「減らそう犯罪」推進部会委員に対し、地区ごとの設置台数を周知するとともに、設置補助制度の積極的な活用を呼び掛けた。	6
				(イ)防犯灯でまちを明るくしよう！	20か所/年	20か所/年	18か所/年	90%	20か所/年	20か所/年	小	通年	○	防犯灯を18か所新設した。	7
(5)交通事故の ない安全なま ちづくり	交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。		○	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	6回	6回以上/年	0回/年	0%	6回以上/年	6回以上/年	大	通年 (-)	中止	密接・密集等を避けられないことから、街頭キャンペーン（年4回）と自転車マナー教室（年2回）は中止したが、庁内放送及びのぼり旗の掲示、Facebookにより啓発活動を行った。	8